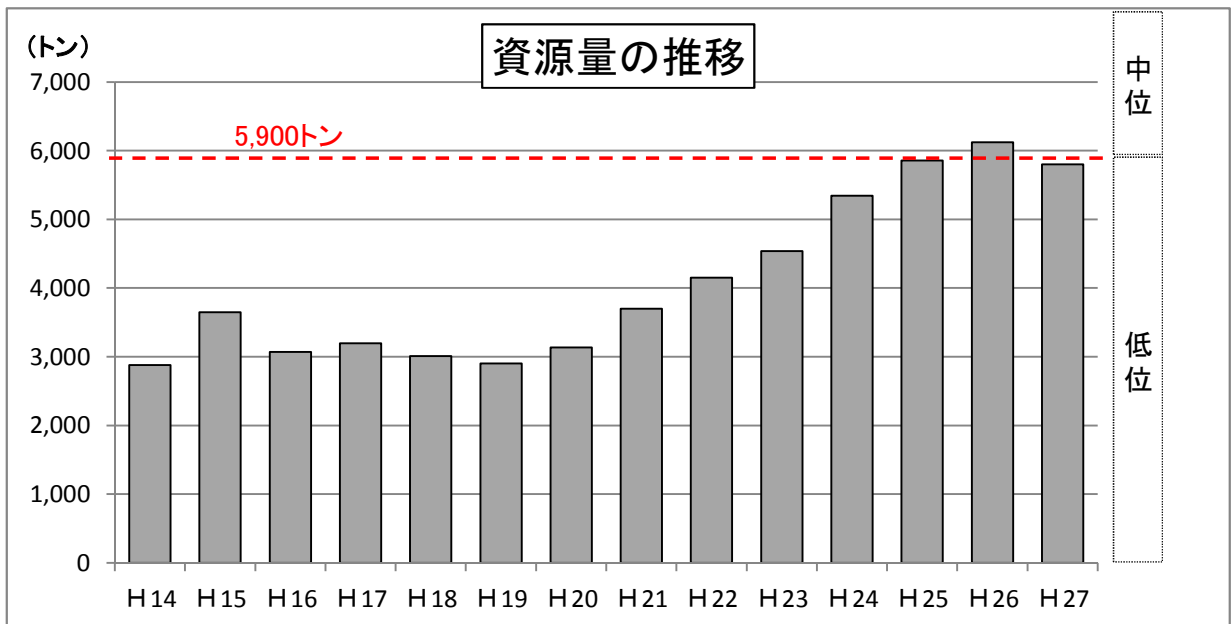


はなつぎ網漁業等におけるサワラの資源管理について

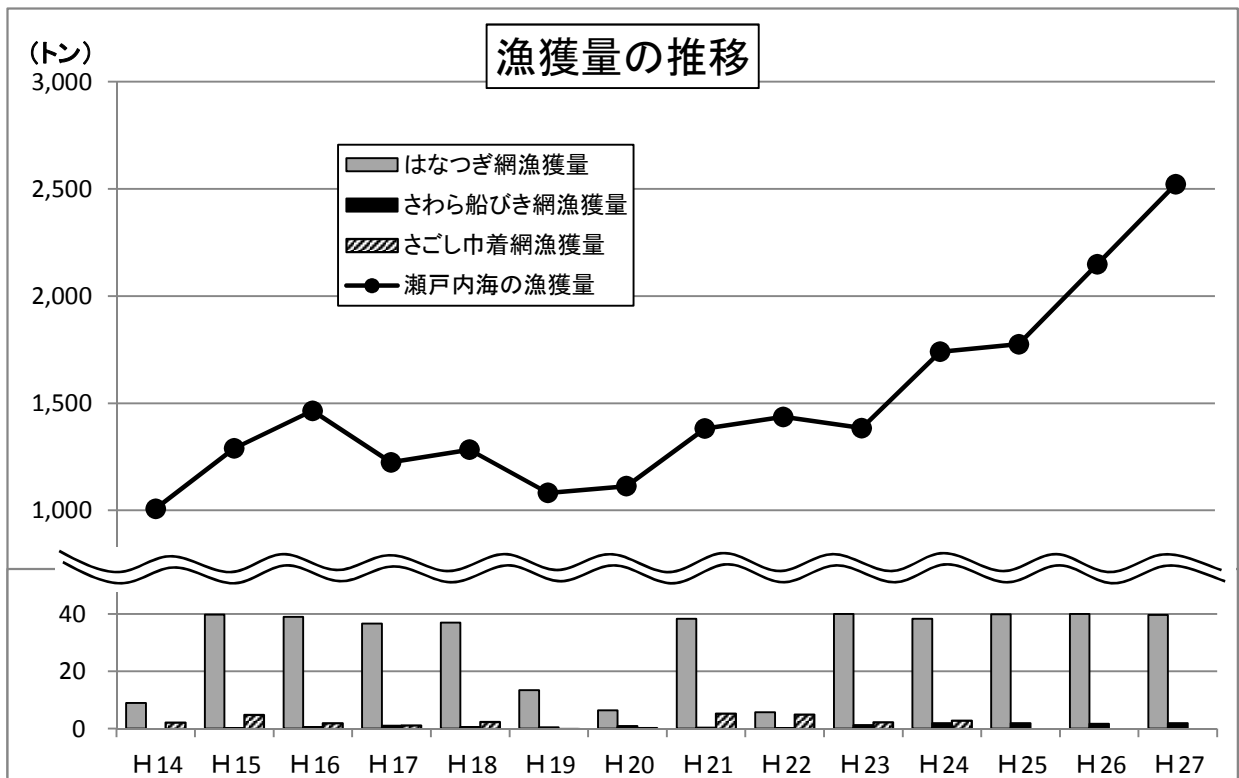
(1) 瀬戸内海広域漁業調整委員会指示による漁獲量制限の現状

府県名	区域	漁業種類	委員会指示による制限
兵庫県	播磨灘	はなつぎ網	年間漁獲量 40 トン以下
岡山県	播磨灘	さわら船びき網	年間漁獲量 2 トン以下
広島県	燧灘	さごし巾着網	年間漁獲量 46 トン以下

(2) 資源量・漁獲量の現状



(※) 平成28(2016)年度サワラ瀬戸内海系群の資源評価より



(※) 瀬戸内海の漁獲量は、漁業・養殖業生産統計年報より (H27は概数値)
 はなつぎ網・さわら船びき網・さごし巾着網の漁獲量は各県からの報告

(3) はなつぎ網漁業等の資源管理の取組（検討要望の内容）

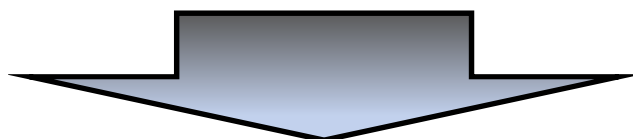
① はなつぎ網漁業等の操業状況等

	はなつぎ網漁業（兵庫県） ^(※)	さわら船曳網漁業（岡山県）
操業期間 （許可上）	5月6日～7月5日（61日間）	5月1日～7月10日（71日間）
操業統数	12ヶ統	1ヶ統
操業体制	網船2隻、運搬船1隻の3隻体制 （12名程度で操業）	網船2隻、運搬船1隻の3隻体制 （10名程度で操業）

(※) さわらはなつぎ網漁業について記載。（たい・さわらはなつぎ網漁業については、近年、操業実績はなく、操業再開の見込みはない。）

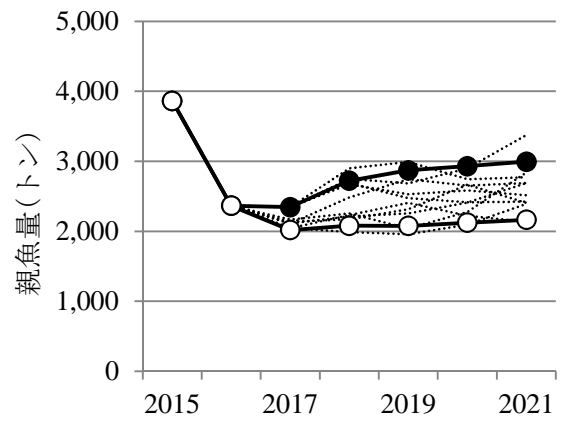
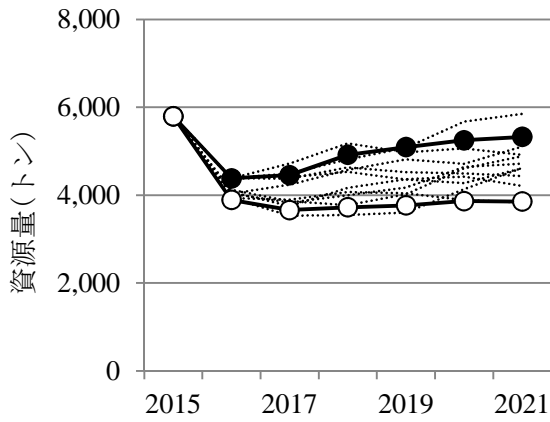
② 兵庫県・岡山県からの検討要望

	はなつぎ網漁業	さわら船曳網漁業
現状の取組	サワラの年間漁獲量を40トン以下とする。	サワラの年間漁獲量を2トン以下とする。

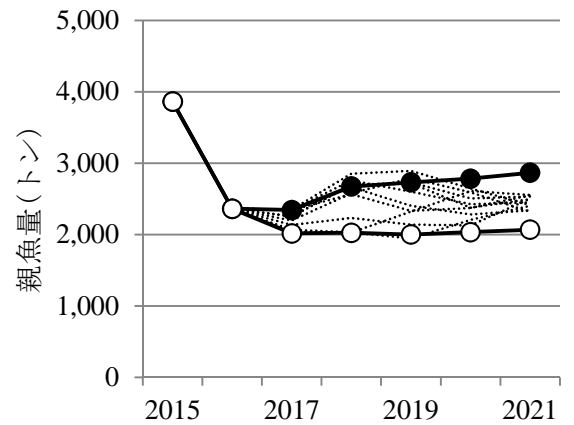
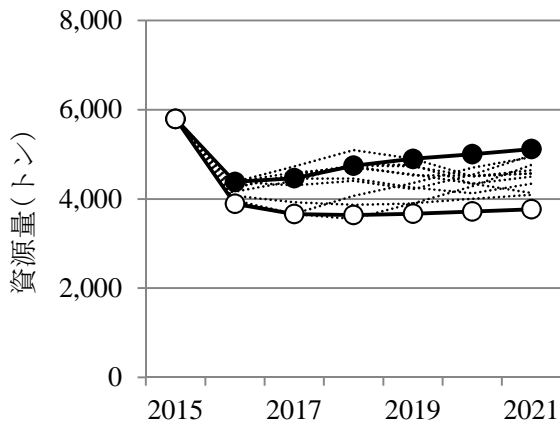


検討要望 の内容	<p>① 完全週休二日制の実施（毎週火曜日・土曜日は休漁）</p> <p>② 操業時間の短縮（夕方の操業を1時間削減）</p> <p>「漁獲量制限」から「漁獲努力量削減」の取組に移行 （公的担保措置（委員会指示）についても検討）</p>
-------------	--

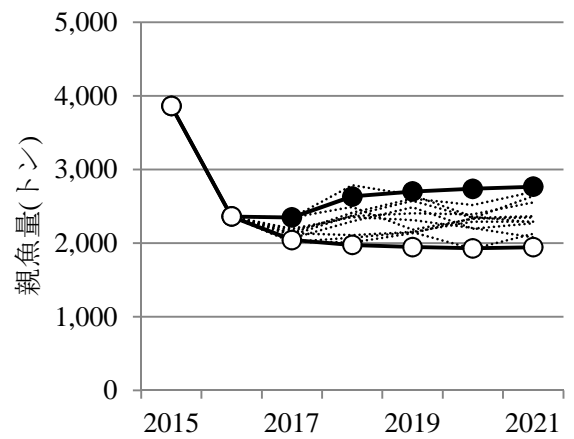
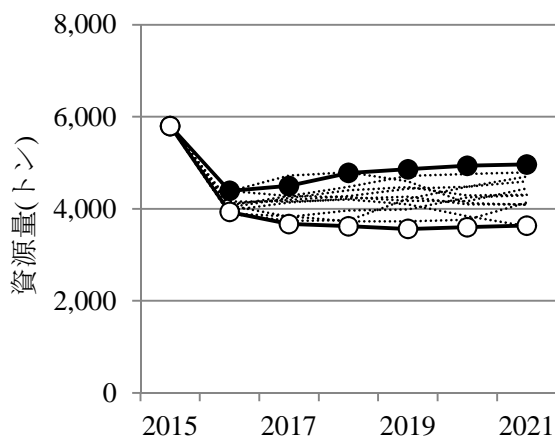
はなつぎ網(兵庫)及びさわら船びき網(岡山)の漁獲量による サワラ資源に対する影響試算



はなつぎ網+さわら船びき網漁獲量 40トン+2トン=42トン(現在の上限)



はなつぎ網+さわら船びき網漁獲量 42トン×2倍=84トン



はなつぎ網+さわら船びき網漁獲量 42トン×3倍=126トン

RPS(加入量/親魚量)を無作為変化。

各1,000回試算の上位10%を黒丸、下位10%を白丸、10回の例を記号なしの点線で示す。